

議 会 研 修
視 察

病院内空調設備の先進事例や
原子力発電所を視察

議会三常任委員会の合同視察研修を昨年10月27、28日に実施しました。今回の研修目的は、病院内空調設備の先進視察として茨城県石岡第一病院。原子力発電の安全確保と環境対策の実情視察として、東京電力福島第二原子力発電所の視察を行いました。

(石岡第一病院)

一日目の石岡第一病院は高圧蒸気滅菌装置や、電化厨房機器を備え付けており、空調設備を含め、全てが電

化されておりました。担当者より、機械室、給湯設備についての評価、説明を受け、意見交換を行いました。また、吉野浄病院院長より院内の施設、診察室、病室、

救急センター内の説明、案内をしていただきました。

石岡第一病院は、在宅支援センター（訪問看護、訪問介護、居宅介護支援）を併設しており、院長以下全スタッフが一丸となり、努力している様子を伺うことができました。

横芝光町立東陽病院も、空調設備の老朽化が進み、改修を余儀なくされる中で、視察は参考となりました。

(東京電力
福島第二原子力発電所)

二日目は地球温暖化対策に有効なCO₂を排出しない原子力発電所の視察を行いました。

東京電力福島第二原子力発電所は、福島県富岡町、楢葉町にまたがった太平洋沿岸に設置されており、発



中央制御（シュミレータ）室では、厳しい訓練を定期的に行っている

電設備は沸騰型軽水炉4基で、440万kwの出力を持つとのことでした。視察前にエネルギー館に於いて村永慶司福島第二原子力発電所副所長及び担当者より実写とCGを使った映像、また模型による説明は、原子力発電に対する知識や理解を得ることができました。発電の内部はいくつかの検問を通り、勤務体制、原子炉を目前にしての説明、また使用済燃料の処理作業等を見学することができました。

現状での原子力発電の必要性、電力の安定供給態勢安全対策がしっかりされていることを感じ、有意義な視察研修となりました。

総務委員長 若梅喜作

編 集 後 記

町の情報の一翼を担う機関紙としてご愛読いただき有難うございます。

今、地域主権のもと地方議会改革が叫ばれる中で、議会の基本的なあり方を示す条例化が地方議会に波及しております。

議会活動の一例を申し上げますと、出前議会報告会を行い、「まちづくり」についてしっかり町民の皆様の意見を聞き、その上で議論や審議を行い、それを公開していくことが議会の取り組みとして、求められる時代になっていると思えます。

昨年、千葉ロッテマリーンズはパリーグ三位から日本シリーズで見事優勝し、県民に勇気と感動を与えてくれました。西村監督はチームの「和」をテーマとし、就任一年目でプロ野球日本一の偉業を達成しました。

横芝光町は合併して間もなく六年目を迎えるようとしております。過去の思いから脱却して、新たにこの町の将来に向かって融和と協調による「町民の和」に基づく町づくりを推進して行かなくてはなりません。そのためにも町民の皆様身近で信頼される議会づくりを目指していくことが大変重要と考えておりますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

広報委員 山崎 貞一



病院敷地内に設置された電気式ヒートポンプ給湯機を見学